

トム・ハンクス

町内イチの
嫌われ者。

好きにならずに
いられない。
だけど…

オットー という男

A MAN CALLED OTTO

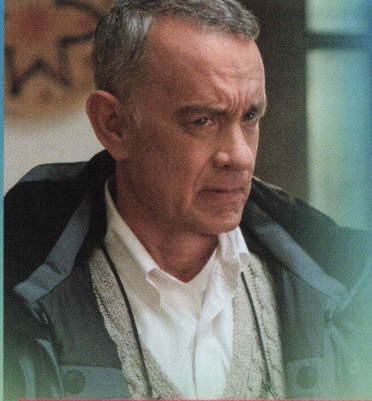
3.10 FRI.

— 全国の映画館にて公開 —

世界的大ベストセラーの映画化

マーク デヴィッド マーク
フォスター マギー フォスター
作品 脚本 監督

二度のアカデミー賞に輝く名優
《トム・ハンクス史上》最も泣ける映画



“町内イチの嫌われ者” オットー・アンダーソン

いつもご機嫌斜めなオットーは、
曲がったことが大っ嫌いで、近所を毎日パトロール、
ルールを守らない人間には**説教三昧**、
挨拶をされても**仏頂面**、**野良猫には八つ当たり**、
なんとも面倒で近寄りたがいの男。それが**〈オットーという男〉**。

「こんな世の中、もううざりだ。」

そんな彼が人知れず抱えていた孤独。

仕事もなくし、最愛の妻にも先立たれたオットーは、妻の後を追って
自らの人生にピリオドを打とうとする。

しかし、向かいの家に引っ越してきた家族に邪魔され、死にたくても死ねない。

それも、一度じゃなく二度、三度も…。

世間知らずだけど、とにかく陽気で人なつこく、

お節介者のマリソルは厳格なオットーとは真逆な性格。

苦手な車の運転や、小さい娘たちの子守を頼んでくる。

この迷惑一家の出現により

“自ら人生をあきらめようとしていた男”

の人生は一変していく—

オットー という男

A MAN CALLED OTTO

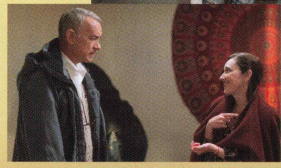


「人生、捨てたもんじゃない」

名優トム・ハンクスが演じるのは嫌われ者の頑固爺さん。

ルールを守らない人たちに腹を立て
いつも不機嫌なオットーという男の人生が、
向かいに越してきた一家によって
変わっていく—。

自分とは正反対な家族に振りまわされ
ながらも、その触れあいを通して
もう一度生きる希望を見つけていく様を、
ユーモアあり、涙ありで描いた感動作。



監督は「ブーと大人になった僕」のマーク・フォスター。原作は世界的ベストセラーとなつたスウェーデンの小説。『幸せなひとりぼっち』というタイトルで映画化もされ、アカデミー賞の外国語映画賞にノミネート。この作品に魅せられたトム・ハンクスがプロデューサーにも名を連らね、ハリウッドでリメイク。オットーの喜怒哀楽、心の変化を演じたトムの見事な演技に誰もが心を揺さぶられ、オットーという男を愛してしまうに違いない。

原題：A Man Called Otto 監督：マーク・フォスター（『ブーと大人になった僕』『ネバーランド』『君のためなら千回でも』）
脚本：デヴィッド・マギー（『ライフ・オブ・パイ』と漂流した227日』『ネバーランド』ともにアカデミー賞）脚色賞ノミネート
製作：リタ・ウィルソン/トム・ハンクス 原作：フレドリック・バクマン『幸せなひとりぼっち』（ハヤカワ文庫）
出演：トム・ハンクス/マリアナ・トレビニョ（TVシリーズ『クラブ・デ・ケルボス』）/
マヌエル・ガルシア・アルルフォ（『マグニフィセント・セブン』）/レイチェル・ケラー（TVシリーズ『TOKYO VICE』）
配給：ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

3/10 FRI
ROADSHOW

www.otto-movie.jp @SonyPicsEiga



劇場内の映画の
撮影・録音は犯罪です
www.eiga.com
0120-550098